

義に早くから目ざめた人々は、国会開会にそなえて自由党をつくりました。

たまたま、会津三方道路をつくる計画をめぐって、けんれい県令（県知事）と県議会がしようとつする事件が、明治十五年（一八八二年）におこりました。ひどい計画だったので自由党を中心に多くの人びとが、反対運動をおこしました。この運動で自由党はきびしくおさえつけられました。

河野広中をはじめ多くの自由党の人々がろうやに入れられました。長安も警察につかまえられそうになりましたが、さわぎがおさまるまで何か月もにげきり、ついにつかまらずにすみました。

長安の家の生活は苦しかったのですが、ろうやに入れられた河野や石陽社の人々の家族の世話をしたり、同じ運動をしていた人たちとのれんらくにはしりまわりました。

また長安は、めずらしいほど気がるにだれとでも仲良しになり、病人がいると遠くまで歩いて、おうしんにでかけました。お金をとらないことも、ずいぶんあ